

<「知るっば！久留米」 令和4年1月6日（木） 12：30～放送分>

おいでよ、地場産くるめ！ ～第1回～ 「地場産くるめってどんなところ？」

<ゲスト：地場産くるめ 事務局長 古賀 友理子さん>

坂本 MC（以下「坂本」）

「知るっば久留米」ナビゲーターの坂本豊信です！

今月は、ぜひ行っていただきたい場所ということで

『おいでよ、地場産くるめ!』をテーマにお送りします。ゲストはこの方です。

ゲスト:古賀さん(以下「古賀」)

こんにちは、地場産くるめで事務局長をしている古賀友理子です。

よろしくお願いします。

坂本 今月は『地場産くるめ』をテーマに4回お送りします。

初回の今日は、『地場産くるめってどんなところ?』です。

事務局長の古賀さんは、去年の4月から地場産くるめの事務局長に着任されたそうですね。

改めて自己紹介をお願いします。

古賀 はい、市からの出向職員という形になります。

久留米地域の特産品の良さを知って、一人でも多くの皆さんにご愛用いただけるように、その魅力やイベント情報の発信をしています。

以前は地場産くるめを担当する商工政策課にいましたので、

地場産くるめがどんなものかはひと通り知っているつもりでした。

でも、実際に仕事をしてみると、業者さんやお客様とのかかわりをはじめ、

売場の商品内容や取扱い数の多さなど改めて知ることもあり、驚きや感動がありました。

坂本 なるほど、市役所で元々担当の部署にいらっしゃったんですね。

そして、実際に地場産くるめに行かれたということですね。

なかなかですね、民間みたいなものなので、大変だろうと思いますが…、

地場産くるめがどういうところか、そこでどういった仕事をしているかも含めて、教えてください。

古賀 地場産くるめは、郷土愛を育み、地域の魅力を向上させ、

地場産品の普及と地場産業の振興や発展を支援するために昭和56年に設立されました。

今年で40周年になります。

坂本 大変な高い理想と目的があるんですね。
昭和56年というと、実は私が市役所に入所した年なんです。

古賀 対象は、久留米市など周辺の6市3町です。
久留米市、八女市、筑後市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町、広川町の
地場産品ですね。
皆さんもよくご存じかと思いますが、久留米餅、籃胎漆器などの伝統工芸品をはじめ、
お菓子や地酒。この地域は、全国有数の酒の産地でもあります。
豚骨ラーメン発祥の地である久留米ラーメン。
その他、みそ、しょうゆ、お酢などの調味料からお茶まであります。
そんな、さまざまな種類の魅力ある地元特産品を集め、PRをしながら販売しています。
なんとその数、約1万点となっております。実は、私も最近知りました。

坂本 すごいですね、広域に久留米市以外も含めて振興しているということですね。
最初は、東合川の店舗1か所だったと思うんですが、その後店舗が増えていったんですね。

古賀 そうですね。地場産品を展示販売する店舗は3店舗あります。
久留米インターの北側にある「東合川店」とJR久留米駅2階にある「JR久留米駅店」、
久留米市中心部の久留米シティプラザの南側にある「六ツ門店」の3店舗です。
道の駅くるめにも地場産コーナーを設けています。
それぞれが、店舗づくりや品ぞろえなどに個性を持たせるようにしています。

坂本 お店ごとに立地条件も違いますし、いろんなお店の個性や特徴があるということなんですね。

古賀 「東合川店」は、設立当初から営業している3店舗の中で売り場面積が一番広い店舗です。
広さは約500平米あり、久留米餅や籃胎漆器が多く展示されています。
お土産用の豚骨ラーメン各種、素朴なお菓子など伝統工芸品から定番商品まで
幅広く販売しています。

坂本 東合川店は一番有名というか、基本中の基本。地場産くるめの原点とも言えますね。

古賀 「JR久留米駅店」は、九州新幹線が開通する1年前の2010年に駅舎が完成しオープンしました。
久留米の玄関口になるので出張や旅行のお土産用として、
特に久留米名菓やラーメンなど食品が充実している店舗です。
いちばん旅情を感じる店舗になっています。

坂本 駅の中にあるので、旅とかお土産という言葉が最もしっくりくるお店だなと感じますね。

古賀 「六ツ門店」は、久留米シティプラザに来られた方が記念に何か買いたいなということで立ち寄られることが多いですね。
くるっばグッズや久留米餅の小物など、持ち帰りやすい小ぶりなものを選ばれることが多いです。
若手俳優の菅田将暉(すだまさき)さんが、くるっばのマスコットをご自身のインスタに掲載された際には、ファンの皆さんにもたくさん購入していただきました。
ベテラン俳優の古田新太(ふるたあらた)さんは、店頭でお買い物をしていただき、店舗スタッフとの記念撮影にも気さくに応じていただいたということです。

坂本 有名人のエピソードは聞いているとこちらも楽しくなります。
一気に久留米がメジャーになったなという気がします。
ところで、東合川店は2階が売り場で、1階に大きな展示場がありますが、
どういった利用ができるんでしょうか。

古賀 イベントや会議用に、総合展示場や会議室を低料金でお貸ししています。
総合展示場には自動車の搬入ができますので、新車発表会とか大型の商品見本市とか、
結構自由にご活用いただいています。
久留米インターにも近いので集客にもおすすめです。
久留米餅の大きなイベント「藍・愛・で逢いフェスティバル」の時は、ステージを設置し、
本格的な照明と音楽で久留米餅の良さを最大限に引き出すファッションショーもやっています。
とってまきらびやかで、見ているだけでもワクワクしてきます。
モデルさんが久留米餅を着こなしている姿はすごくかっこよくて、何回見ても飽きません。
同じ女性でも見惚れてしまうかっこ良さで、ため息が出てしまいます。

坂本 私も時々寄らせてもらっていますが、餅の魅力ってものすごくあるなと思います。
話は2階に戻りまして、展示即売場の隣に久留米餅の資料館がありますね。

古賀 久留米餅の資料館は入場無料で、江戸末期から昭和までの文化財として価値のある作品を
たくさん展示しています。
久留米餅を作る際に使う道具や手織りの実演などもご覧いただけます。
織体験も少しだけならご案内できますよ。
観光バスで来られた皆さんに、手間暇かけて作っていることを分かっていただけるので、
説明のし甲斐があります。
早く新型コロナウイルスが落ち着いて、直接ご案内できる日が来てほしいと思っています。

坂本 いいお話の途中なんですけど、残念ながらちょうど時間になりました。
地場産くるめの古賀さん、興味深いお話をありがとうございました。
地場産くるめの場所やお得な情報について詳しくは「地場産くるめ」で検索して、
ホームページをご覧ください。
次回は『久留米と日本酒の話』や『久留米とラーメンの話』をテーマにお聞きます。お楽しみに。